

最近の話題・トピックス

コロナ禍の今だからこそ

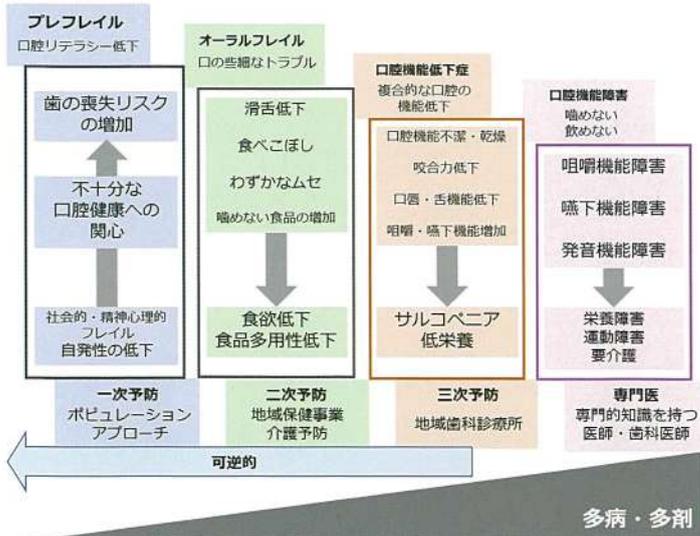
「口腔健康管理」「摂食嚥下評価・訓練」を

摂食嚥下リハビリテーション学分野(歯科・口腔外科) 谷口 裕重

「オーラルフレイル」「口腔機能低下症」とは

近年、超高齢社会の到来で医療・介護業界に新たな風が流れています。いかに、健康長寿を延伸できるか、介護予防や新医療制度の発足など様々な方面から事業が推進されています。特に高齢により心身の機能や活力が衰え、虚弱になった状態、「フレイル」という言葉が注目されています。このフレイルは口腔でも起こり、食べこぼす、むせる、活舌が悪くなるなど、**口腔の機能が衰えた状態を「オーラルフレイル」と呼びます。**口腔と全身の健康は深く関わっており、オーラルフレイルを抱える人は、身体的なフレイルやサルコペニア(筋力低下)を引き起こし、ひいては要介護状態になるリスクが高くなると言われています。「80歳で20本の歯を残そう!」で知られる8020運動が開始当初の到達目標であった50%を超え、2人に1人が20本以上の残存歯を持つ時代となった一方で、**歯があっても咀嚼や嚥下機能が衰え、うまく食事が摂れない方が増えています。**

このような背景を受け、歯科では、2018年4月の診療報酬改定で「**口腔機能低下症**」が新たに保険収載されました。口腔機能低下症は患者の口腔機能を総合的に判断し、管理を行うための疾患名として定義されています。さらに、口腔機能低下症が進行すると、咀嚼・嚥下障害、発音障害などの口腔の「機能障害」が生じるだけでなく、低栄養やサルコペニアなどの心身機能にも影響を及ぼし、要介護状態や栄養障害を引き起こします(図)。我々歯科医療者が懸念しているのは、**コロナ禍の影響で歯科受診を控えている方もみえますが、口腔内に放置されることにより、口腔内環境が悪化し、オーラルフレイルや口腔機能低下が進行することです。**さらには、口腔機能低下を起因として、誤嚥性肺炎発症、冠動脈疾患・糖尿病の悪化などの二次的健康被害が起



こることです。実際、施設対象に行った調査では、コロナ禍で歯科が介入しなくなったことにより、食事に関する問題(食欲低下、食事量低下等)や口腔環境悪化(汚れ、口臭等)が増加したと報告されています。「咬みにくい」や「飲み込みにくい」、「お口が乾く」などの口腔の健康悪化が見られる場合はかかりつけ歯科医院への受診をお勧めします。

「嚥下評価・訓練入院(嚥下パス)」と「摂食嚥下支援チーム」のご紹介

口腔機能低下が進行すると、「障害」つまり、「咀嚼障害」「摂食嚥下障害」に移行します。「摂食嚥下障害」は嚥下障害を引き起こす疾患が原因となる場合もありますが、近年は**サルコペニアや口腔機能低下、低栄養に起因した嚥下障害も注目されています。**このような機能低下に対しては、早期発見・介入することにより、進行予防することが求められます。そのため、当院では昨年(2019年)より患者サポートセンターと医科歯科医師、**嚥下認定看護師が中心となり、地域連携の一環として「嚥下評価・訓練入院(嚥下パス)」を運用しています。**地域で療養している方を対象に、入院による嚥下評価を多職種で行い、対象にあった食事形態や食事姿勢を嚥下認定看護師や病棟看護師が指導・運用しています。嚥下パスの特徴は以下です。

嚥下評価・訓練入院:嚥下パスの特徴

- ①地域で嚥下障害の疑いがある方に一時入院をしていただく
(評価のみの場合は2週間、その後訓練する場合は機能に応じて入院期間を検討)
- ②多職種で嚥下評価を行い、多角的評価を行う
- ③嚥下評価をもとに、退院後の食事形態や嚥下リハビリを指導する
- ④退院前カンファレンスの開催により地域連携を図る(地域にお返します)(写真)



2020年7月には医師、歯科医師、嚥下認定看護師、言語聴覚士、管理栄養士、薬剤師、歯科衛生士で構成される「**摂食嚥下支援チーム**」を設立し、より専門性を高めています。摂食嚥下支援チームは、嚥下パスへの介入、NSTの参加は勿論のこと、難症例にも対応するため、毎週チームカンファレンスを実施し多職種で症例検討を行っています。

当院では、今後も各医療機関と連携した「病診連携」および「病病連携」を推進したいと考えています。「**地域医療の向上**」および「**地域共生社会を実現**」するため、今後もぜひ当院の嚥下パスを利用していただけると幸いです。



診療医ご案内



(令和2年12月1日現在)

診療科		月	火	水	木	金	土
消化器内科	初診	尾松	八木	八木/坂元	向井	林/中畑	担当医
	予約診	小島	大洞	小島	中畑	福田	—
	予約診	八木	林	尾松	坂元	向井	—
循環器内科		瀬川	藤井 (非常勤)	瀬川	川口(智)	次田	土井 (心臓血管外科) (月1回不定期)
		田中(新)	伏屋	田中(新)	渡辺 (非常勤2・4週)	瀬川	大倉(宏) (月1回不定期)
腎臓内科		大橋(宏)	大野	大橋(宏)	操/大橋(宏)	大野/野老山	大橋(宏)
糖尿病・内分泌内科	1診	佐々木(昭)	武田	佐々木(昭)	佐々木(昭)	武田	武田
	2診	杉本	杉本	和田	杉本	杉本	佐々木(昭)
	3診	梶浦	—	梶浦	梶浦	和田	—
呼吸器内科		豊吉	舟口	豊吉	舟口	豊吉	豊吉
睡眠医療センター		—	—	大倉(睦)	大倉(睦)	—	大倉(睦)
外科		操	田中(秀)	—	太和田	田中(秀)/太和田	担当医
乳腺外科	1診	川口(順)	川口(順)	川口(順)	川口(順)	川口(順) (2・4週目)	担当医 (予約診のみ)
	2診	北澤	北澤	—	中神 (非常勤)	北澤	
脳神経外科		石澤	郭	岡	石澤	大倉(睦)	郭
		岡	熊谷	加納	板津	—	加納
整形外科	初診	河合・足立	吉田	池田/山賀 (2・4週目)	星野	前田	担当医
	予約診	—	星野	前田	河合	大友	今泉 (第1週)
	予約診	青芝	—	日下	吉田	日下 中島(午後)	塚原・河合 (第2週)
	予約診	池田	今泉	足立	塚原	今泉	松岡 (第1・3週)
眼科	1診	佐本	佐本	佐本	—	佐本	—
	2診	—	—	矢田	矢田	矢田	—
泌尿器科		江原(英)	土屋 (非常勤)	江原(英)	江原(英)	江原(英)	江原(英) (第1・3週)
		加藤	加藤	—	加藤	加藤	加藤 (第2・4・5週)
婦人科	1診	藤本	川島(英) (嘱託医)	川島(英) (嘱託医)	藤本	藤本	藤本 (不定期)
	2診	川島(英) (嘱託医)	藤本 (不定期)	—	川島(英) (嘱託医)	川島(英) (嘱託医)	—
放射線治療科		田中(修)	田中(修)	田中(修)	牧田 (非常勤)	田中(修)	—
頭頸部外科 耳鼻咽喉科	初診	長谷川	長谷川	非常勤	松塚	長谷川/松塚	松塚
	再診	—	松塚	—	長谷川	—	—
歯科・口腔外科	6階	谷口/岩崎	大橋(静)/岩崎	渡邊(一)/岩崎	石橋/岩崎	大橋(静)/岩崎	担当医
	5階	村松/鶴飼	村松/松原	江原(雄)/松原	江原(雄)/長縄	長縄/高橋	担当医

【ご案内】 ●診療受付時間は、全科8:00～11:30、ただし、初診の方は、11:00で受付終了。(救急・急患の場合は、この限りではありません。)
●年度変わりの時期や学会出張により、診療医が変更することがありますので、予め確認が必要である方は、お電話でお尋ねください。